

# COMPANY REPORT

証券コード：8051

## 第65期 中間報告書

2010年4月1日から2010年9月30日まで



株式会社 山善

## イノベーションで次代を切り拓きます。

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、当社第65期（2010年4月1日から2011年3月31日まで）の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済対策の効果による個人消費の持ち直しや、アジア新興国を中心とした輸出の増加によって自動車・家電・半導体などの生産に改善の動きが見られるものの、円高や株価の下落、デフレの進行などにより、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内生産財分野においては半導体製造装置や液晶など輸出関連企業の業績回復に伴い設備関連商品の需要が増加しました。海外生産財分野においてはアジア地域が引き続き好調を維持しており、米国においても自動車の更新需要が増加し、航空機、医療機器業界も回復基調で推移しました。消費財分野においては新設住宅着工が持ち直しの状況で推移するとともに、猛

暑の影響で夏物季節商品の需要が大幅に増加しました。

このような情勢下、当社グループは当期よりスタートした新3カ年経営計画『VISTA-3S』の方針に基づき、企業価値の一層の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、148,130百万円（前年同期比35.3%増）となりました。利益面につきましては、一般管理費で変動費が売上拡大に伴い増加しましたが、固定費を微増に抑えた結果、営業利益は2,419百万円（前年同期は607百万円の損失）、経常利益は2,404百万円（前年同期は882百万円の損失）、四半期純利益は1,581百万円（前年同期は659百万円の損失）となりました。

今後の見通しにつきましては、内需では一部の補助金継続などで景況の下支えの動きもありますが、デフレが継続する中で雇用環境は好転が見込めず、また為替相場においても円高で推移しており、輸出面でも価格競争など引き続

き厳しい状況が続くものと思われま

そうした状況下、当社グループは世界各国58事業所におよぶネットワークによる海外対応力の強化を含む生産財事業のさらなる基盤の充実と、常に新しい発想で日常生活の快適さをサポートする消費財事業の一層の拡充を図るため、変化に対応し、常にイノベーション（革新）に挑んでまいります。そして、「現場第一主義」を貫き、お客様と最最も近い場所で、自らの目で確かめ、肌で感じ、しっかりと情報を集めることを徹底し、世の中の価値観の変化を見極め、「広い視野」、「鋭い感覚」、「早い反応」で次代を切り拓いてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高295,000百万円、営業利益4,500百万円、経常利益4,500百万円、当期純利益2,800百万円を見込んでおります。

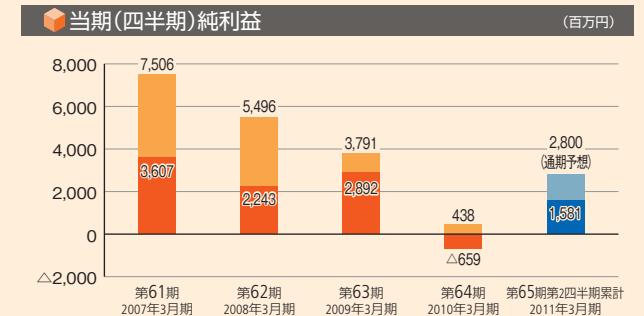
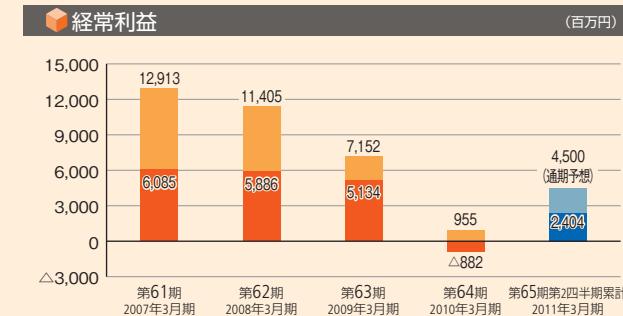
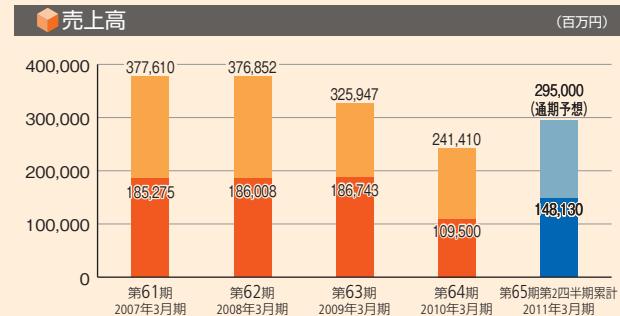
今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、株主の皆様のみますますのご健勝とご発展を心よりご祈念申し上げます。

2010年12月



代表取締役社長 高橋 亨



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2010年9月30日現在)	前期末 (2010年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>105,604</b>	<b>95,938</b>
現金及び預金	14,600	12,329
受取手形及び売掛金	72,819	67,347
有価証券	4,015	4,014
商品及び製品	12,041	10,851
繰延税金資産	970	748
その他	1,964	1,497
貸倒引当金	△806	△850
<b>固定資産</b>	<b>22,500</b>	<b>24,291</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,125</b>	<b>12,322</b>
建物及び構築物	3,921	4,071
機械装置及び運搬具	116	127
工具、器具及び備品	113	132
土地	7,886	7,896
その他	87	93
<b>無形固定資産</b>	<b>1,401</b>	<b>1,636</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,973</b>	<b>10,333</b>
投資有価証券	6,005	7,144
長期貸付金	29	32
破産更生債権等	461	475
前払年金費用	1,448	1,659
繰延税金資産	22	21
その他	1,666	1,641
貸倒引当金	△661	△641
<b>資産合計</b>	<b>128,105</b>	<b>120,230</b>

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2010年9月30日現在)	前期末 (2010年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>88,745</b>	<b>80,390</b>
支払手形及び買掛金	74,112	68,360
短期借入金	6,665	6,560
未払法人税等	1,144	907
賞与引当金	1,596	1,295
その他	5,226	3,267
<b>固定負債</b>	<b>2,289</b>	<b>2,699</b>
長期借入金	502	507
引当金	19	38
繰延税金負債	54	633
その他	1,712	1,519
<b>負債合計</b>	<b>91,035</b>	<b>83,090</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>39,047</b>	<b>37,935</b>
資本金	7,909	7,909
資本剰余金	6,081	6,081
利益剰余金	25,073	23,960
自己株式	△16	△16
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△1,977</b>	<b>△795</b>
その他有価証券評価差額金	467	1,176
繰延ヘッジ損益	16	△1
為替換算調整勘定	△2,461	△1,970
<b>純資産合計</b>	<b>37,070</b>	<b>37,140</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>128,105</b>	<b>120,230</b>

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>148,130</b>	<b>109,500</b>
<b>売上原価</b>	<b>129,854</b>	<b>95,491</b>
<b>売上総利益</b>	<b>18,275</b>	<b>14,008</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>15,855</b>	<b>14,616</b>
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>2,419</b>	<b>△607</b>
<b>営業外収益</b>	<b>797</b>	<b>659</b>
受取利息	615	458
受取配当金	46	64
その他	135	136
<b>営業外費用</b>	<b>813</b>	<b>934</b>
支払利息	567	519
手形売却損	1	6
デリバティブ評価損	227	388
その他	16	20
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>2,404</b>	<b>△882</b>
<b>特別利益</b>	<b>1</b>	<b>—</b>
投資有価証券売却益	1	—
<b>特別損失</b>	<b>84</b>	<b>2</b>
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	0	1
事業整理損	70	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	—
<b>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)</b>	<b>2,321</b>	<b>△885</b>
法人税、住民税及び事業税	1,075	52
法人税等調整額	△335	△278
<b>法人税等合計</b>	<b>740</b>	<b>△226</b>
少数株主損益調整前四半期純利益	1,581	—
少数株主利益	—	—
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>1,581</b>	<b>△659</b>

生産財関連ビジネス

国内生産財部門

主要な生産設備である工作機械は、自動車や輸出関連企業で持ち直しも見られますが、内需関連ではその足取りは依然重いものがあり、全体としては緩やかな回復となりました。その結果、工作機械部門の売上高は17,467百万円(前年同期比46.5%増)となりました。工作機械以外の国内生産財部門では半導体やLED、太陽電池関連の需要が回復し、メカトロ関連は伸長しましたが、一部機械要素部品などでは急激な需要拡大により品不足が発生しました。工具類の受注も工作機械と同様、上向きながらも力強さに欠ける状況での推移となりました。その結果、売上高は46,494百万円(同、28.5%増)となりました。国内生産財部門全体では売上高は63,961百万円(同、32.9%増)となりました。

国際営業部門

世界的に需要が回復する中で、中国、ASEAN諸国を中心にIT関連に加え、LEDや太陽光発電関連の設備需要が急伸、また日系部品メーカーからの受注も伸びました。米国でも自動車産業や大型機市場が回復の兆しを見せました。その結果、売上高は30,631百万円(前年同期比169.6%増)となりました。

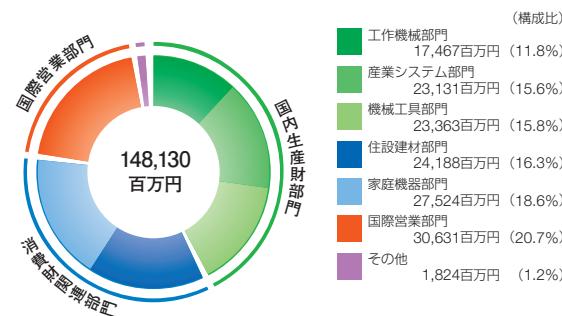
消費財関連ビジネス

住設建材部門

新設住宅着工戸数に一定の回復が見られるものの、デフレ圧力が強まり、主要商品の単価は下落傾向にあります。このような状況下、ソーラー専用Webサイト「イエソラ」の開設など注力してきた太陽光発電が前年比3倍と大きく貢献、また猛暑の影響でエアコン等が大きく伸長しました。その結果、売上高は24,188百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

家庭機器部門

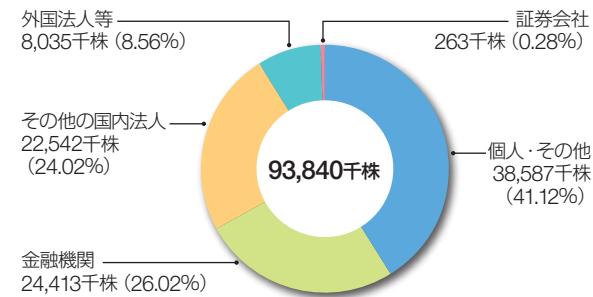
記録的な猛暑により扇風機やスポットエアコンなどの季節商品はほぼ完売となり、好調なネット販売とともに業績を牽引しました。一方、カタログ通販は伸び悩みました。その結果、売上高は27,524百万円(前年同期比6.0%増)となりました。



### 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	93,840,310株
株主数	6,654名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
山善取引先持株会	7,609 (千株)	8.10 (%)
東京山善取引先持株会	5,831	6.21
山善社員投資会	3,520	3.75
株式会社森精機製作所	3,399	3.62
株式会社みずほコーポレート銀行	3,272	3.48
株式会社りそな銀行	3,067	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,737	2.91
名古屋山善取引先持株会	2,317	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,787	1.90
九州山善取引先持株会	1,569	1.67

### 会社概要

商号	株式会社 山 善
設立	1947年(昭和22年)5月30日
資本金	7,909百万円
本社所在地	〒550-8660 大阪市西区立売堀2-3-16
大阪本社	〒216-8505 神奈川県川崎市宮前区宮崎156
東京本社	
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行・りそな銀行・三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・みずほ信託銀行
従業員数	2,098名(連結)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	吉 居 亨	最高経営責任者 (CEO)
代表取締役副社長	緒 方 文 由	最高執行責任者 (COO)
専務取締役 上席執行役員	笠 原 貞 治	東日本営業本部長
常務取締役 上席執行役員	山 本 政 美	国際本部長
常務取締役 上席執行役員	清 木 勝 彦	IT統轄責任者 (CIO) 経営企画本部長
取締役 上席執行役員	寺 坂 充 生	大阪営業本部長
取締役 上席執行役員	中 田 纒	工具統括部長
取締役 上席執行役員	掛 川 隆 司	最高財務責任者 (CFO) 管理本部長
常勤監査役	岩 口 勇	
監査役	木 村 育 英	
監査役(社外)	阪 口 誠	
監査役(社外)	吉 村 勲	

## Topics

### 技能五輪に協賛 「ものづくり図鑑」を神奈川県に寄贈

当社は、10月に神奈川県で開催された「技能ルネッサンス! かながわ2010(第48回技能五輪全国大会・第32回全国障害者技能競技大会)」に協賛し、地元中学生向けの大会PR誌として制作した「ものづくり図鑑」(A4版・84頁、7万部)を神奈川県に寄贈。教育委員会を通じ県下の公立中学1年生全員に配布されました。図鑑は、大会の概要だけでなく競技で競われる技能のポイントやそれらがどんな職種で活かされるかなども解説しています。大会PR誌の寄贈は昨年の茨城大会に続き2回目となります。

なお、寄贈式は9月6日、神奈川県庁で催され、当社社長から、松沢成文県知事に寄贈しました。松沢知事は「大会PRだけでなく、技能継承に役立ててもらえるよう使わせていただきます」と謝意を述べられました。



寄贈式で握手を交わす松沢知事と吉居社長

### 中国支社が新事務所に移転 ショールームを併設

当社中国支社(山善く上海)貿易有限公司)は業容の拡大に伴い、上海市内の新事務所に移転。9月27日に市内のホテルに得意先製造ユーザーや仕入メーカーなどを招き、上海新事務所の開所式を開催しました。

新事務所は、上海市宜山路の高層ビル内の1階と2階に入居。敷地面積は約1,890m<sup>2</sup>、1階には日本製工作機械や3次元測定機などを常設展示するショールームのほか、試加工用の作業場も併設。2階は事務所となります。人員は駐在員5名、ナショナルスタッフ54名の体制で、来年3月には家庭機器上海事務所も移転します。



中国支社が入居する高層ビル

### 家庭機器 キャンパーズコレクションのアイテム 長崎「キャンプテンボス」で活躍

長崎にあるテーマパーク「ハウステンボス」に7月中旬にオープンした「キャンプテンボス」。タレントの清水国明氏がプロデュースするキャンプ場で、「キャンパーズコレクション」のテントや調理機器などアウトドアアイテムが活躍しています。

豊かな自然を満喫できる丘陵地にあり、東京ドームの約半分、18,000m<sup>2</sup>の土地に100サイトのキャンプ区画を用意。1サイトあたりの利用料は4,000~6,000円(シーズンごとに変動)で、1サイトにつき最大5名が利用でき、年間の目標利用者数は12,000組。「キャンパーズコレクション」のテントや調理器具の有料貸し出しを行うほか食材セットの利用も可能で、アドバイザースタッフも常駐しており、ビギナーの方が手ぶらで訪れても存分にキャンプを楽しめます。



## PICK UP おすすめアイテム



### 大根おろしにとことんこだわったアイテム登場！ 「おろしの達人（電動大根おろし器）」

焼き魚、天ぷら、ハンバーグや焼肉とも相性抜群の「大根おろし」。そんな大根おろしを手軽に安全に作るアイテム『おろしの達人』を新発売しました。適度な大きさにカットした大根を入れるだけで、大根おろしがあつという間に完成。お料理の手間をぐんと楽にするアイテムです。また、「汁切りプレート（実用新案申請中）」を付属し、おろし汁だけ分離することも可能で、とことん“大根をおろす”ことにこだわった商品です。

商品の詳細・購入は「くらしのeショップ」へ  
<http://www.rakuten.co.jp/e-kurashi/>

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 剰余金の配当基準日 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）  
 定時株主総会 6月下旬  
 単元株式数 100株  
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部  
 株式会社大阪証券取引所 市場第1部  
 公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		☎ 0120-288-324
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。

### 【お知らせ】

#### ○上場会社の配当金に関する税制改正等について

租税特別措置法の改正により、お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、平成22年1月のお支払分より源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



株式会社 山善

URL <http://www.yamazen.co.jp>



国内全事業所 認証取得